

巻頭 先生なら、どうしますか？

学校を去る生徒が次の一步を踏み出すために、
時間をかけて取り組んだ「中退の理由づくり」

静岡県立小山高校 美那川雄一

2 特集

「主体的な学び」の実現の鍵を握る
「自己調整学習」とはどのような学びか？

- 4 Interview 「自己調整学習」とは何か 九州大学大学院人間環境学研究院 准教授 伊藤崇達
- 8 授業事例1 世界史 東京都立多摩高校 石川幸佑
- 11 授業事例2 数学 東京都立多摩高校 植嶋悠太
- 16 授業事例3 物理 長崎県立諫早高校 後田康蔵
- 20 授業事例4 英語 三重県立松阪工業高校 中村智宏
- 23 Commentary 「自己決定」と幸福感 神戸大学計算社会科学センター 特命教授 西村和雄

26 発問・課題設定をキーに見る
主体的・対話的で深い学び 授業実践

26 地理
富山県立富山中部高校 土井 聡

30 英語
広島県立三原高校 山本大輔

お勤めの分掌 管理職 教務担当 進路担当 担任

34 探究学習 つながり、伴走する教師たち

岡山県立瀬戸高校

テーマ 探究×生成AI

お勤めの分掌 管理職 教務担当 進路担当 担任

36 事例で深める！ 学習評価

静岡県立静岡東高校

テーマ 評定への総括

お勤めの分掌 管理職 教務担当 進路担当 担任

38 指導変革の軌跡

山梨県・私立山梨学院高校
学校の魅力化

お勤めの分掌 管理職 教務担当 進路担当 担任

42 大学入試トレンド解説

今後の年内入試に向けた
小論文・志望理由書の指導のポイント

お勤めの分掌 管理職 教務担当 進路担当 担任

52 Reader's VIEW

<https://view-next.benesse.jp/>

本誌記事は、ウェブサイトVIEWnext ONLINEでもご覧いただけます。

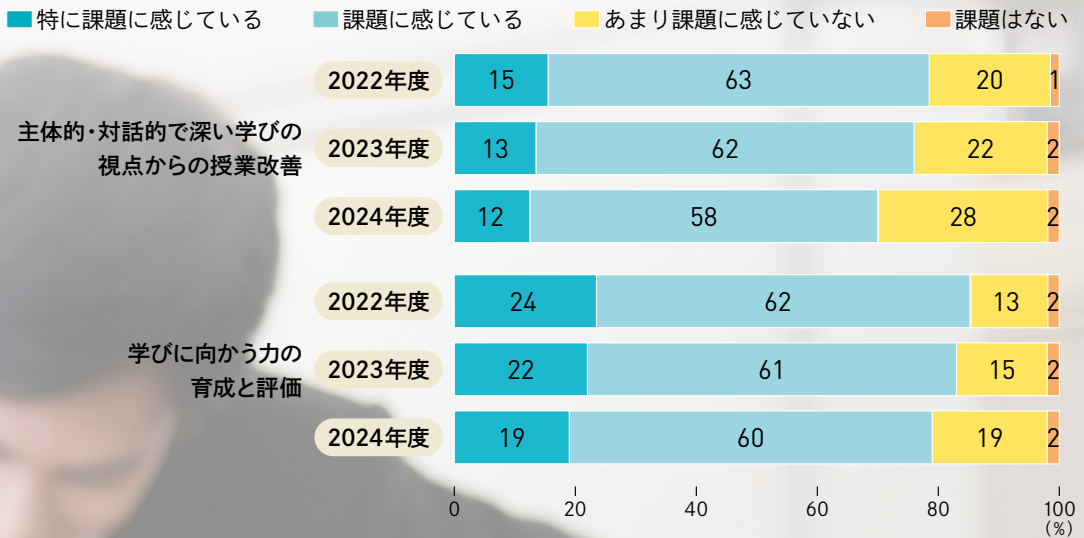
印刷製本／(株)協同プレス 編集協力／(有)ベンダコ 執筆協力／二宮良太 撮影協力／荒川 潤、岸 隆子、木村琢磨、福山 哲、ヤマグチイッキ イラスト協力／カモ

※本文中のプロフィールはすべて取材時のものです。また、敬称略とさせていただきます。

※本誌記載の記事、写真の無断複写、複製及び転載を禁じます。 ©Benesse Corporation 2024

とはどのような**学**びか？

図1 高校が課題に感じている教育活動



注1) 数値は小数点以下を四捨五入。注2) 2022年度は924校、2023年度は880校、2024年度は870校が回答。
※ベネッセコーポレーション「2024年度新課程および教育活動全般に関する調査」を基に編集部で作成。

図2 教師が抱く「主体的な学び」に関する課題感

「主体的な学び」とはどんな学びか理解できておらず、戸惑っている教師は依然として多い。

全教科でシラバスを作成しているが、「主体的な学び」を育むための授業改善に至っていない。

授業中の挙手の回数やノートの取り方などで、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する形になってしまっている。

授業で生徒主体の学びを推進しているが、生徒によって取り組みに大きな差が出てしまう。

※『VIEW next』高校版読者モニターアンケートの結果や高校への取材で得られた声を基に編集部で作成。

図3 「主体的な学び」「主体的に学習に取り組む態度」についての説明

「主体的な学び」について

……学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」が実現できているか……

※文部科学省「高等学校学習指導要領解説総則編」

「主体的に学習に取り組む態度」について

……「主体的に学習に取り組む態度」に係る各教科等の評価の観点の趣旨に照らし、①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面と、②①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面、という二つの側面を評価することが求められる。

※中央教育審議会「児童生徒の学習評価の在り方について（報告）」

「主体的な学び」の実現の鍵を握る

特集

自己調整学習

現行の学習指導要領が実施されて2年半が経過しましたが、学校現場では依然として授業改善について課題を感じている教師が少なくありません（図1）。中でも「主体的な学び」の実現に苦慮されている声が多く聞かれます（図2）。また、観点別学習状況の評価の観点の1つで、「主体的な学び」に深く関連する「主体的に学習に取り組む態度」の評価に高い課題感を持つ傾向も続いています（図1）。

「主体的な学び」も「主体的に学習に取り組む態度」も、文部科学省等からそれぞれについての説明が示されていますが（図3）、授業中の教師の説明を聞く姿勢や発言の有無、課題の提出状況といった、性格や行動面の傾向が一時的に表出された場面を捉えて、「主体的な学びが実現できている」「主体的に学習に取り組む態度の評価は『おおむね満足できる』」などとしているケースが少なくない、現場の先生方からも伺います（図2）。そして、そうした状況が起きている要因の1つとして、「主体的な学び」や「主体的に学習に取り組む態度」の解釈が教師によって異なることを、現場の先生方は指摘しています（図2）。

「主体的な学び」や「主体的に学習に取り組む態度」について、教師間で共通理解を図る際に鍵を握るのが、「自己調整学習」という学びです。今号は、「自己調整学習」をひも解くことで、「主体的な学び」「主体的に学習に取り組む態度」の理解を深めていければと思います。

VIEWnext 編集部 統括責任者 柏木 崇

P.4 **Interview** 九州大学大学院人間環境学研究院 准教授 **伊藤崇達**^{たかみち}

自分に合った学び方を生徒自身が探す「自己調整学習」

P.8 **授業事例 1 世界史** 東京都立多摩高校 **石川幸佑**^{こうすけ}

自分で取り組む場があることで、生徒は意欲的に学習に向かう

P.11 **授業事例 2 数学** 東京都立多摩高校 **植嶋悠太**^{うえしま}

自分が選んだ方法やペースで学びながら、自分に合った学び方を見いだす

Column 取り組みの組織的推進

教師の生徒観が変わる自由進度学習を全校に広める

P.16 **授業事例 3 物理** 長崎県立諫早高校 **後田康蔵**^{いさはや うしろだ こうぞう}

学期単位で自己調整学習を取り入れ、学力上位層の生徒のニーズに応える

Column 取り組みの組織化

高校段階で必要な学びを議論し、教師・生徒のマインドチェンジを促す

P.20 **授業事例 4 英語** 三重県立松阪工業高校 **中村智宏**

授業に自己調整学習を組み込み、多様な学力の生徒の学びを充実させる

P.23 **Commentary** 神戸大学計算社会科学センター 特命教授 **西村和雄**

人生の幸福感を高める「自己決定」を学校の中にどう取り入れるか

先生方とともに
考えたい「問い」

なぜ「自己調整学習」が、「主体的な学び」や「主体的に学習に取り組む態度」の共通理解の鍵を握っているのか。